

令和四年度俳人協会三重県支部懇親吟行会

日時

令和四年十月一日(土)

会場

いちきのみや地域交流センター

坂本宮尾特選

都へと秋澄む宮の大和笛

岩間紀美子

踏切を越え天平の秋野ゆく

山守拓治

黄心樹の実に色はしる斎宮址
おがたま

坂口緑志

坂口緑志特選

卜定の亀裂の深き秋思かな
ぼくじょう

石井いさお

色変へぬ業平松や皇女の恋

西田ゆかり

石井いさお特選

秋風の抜くる正殿太柱

松村正之

秋風を箴に機織る皇女の御衣
おき

平野 透

平田冬か特選

黄心樹の実に色はしる斎宮址
おがたま

坂口緑志

秋蝶に襲の色目斎宮址
かさね

高橋玲子

西田 誠特選

貝桶の緒は真紅秋うらら
まぐれなゐ

古川和子

秋風を箴に機織る皇女の御衣
おき

平野 透

福山良子特選

卜定の亀裂の深き秋思かな
ぼくじょう

石井いさお

禊場の碑高し蚊の名残

岩間峯子

橋本石火特選

そよぐもの無くて刈田の広さかな

三田洋子

秋晴や電車道まで斎宮址

松村正之

前田照子特選

斎宮の模型さちきちの一蹴り

高山之直

そよぐもの無くて刈田の広さかな

三田洋子

松本愛子特選

斎王に子のつく名前小鳥来る

水野悦子

野々宮の千草溢るる花手水

赤塚靖子

梅枝あゆみ特選

卜定の亀裂の深き秋思かな

石井いさお

秋蝶に襲かさねの色目斎宮址

高橋玲子

金津やよい特選

卜定ぼくじょうの亀裂の深き秋思かな

石井いさお

斎宮址民の暮しの豆を引く

石井いさお

高点句

爽涼や出土土師器に「いろは歌」

金津やよい

秋風を箴わさに機織る皇女の御衣

平野 透

竹神社野菊も足して花手水

三ツ矢花野子

卜定ぼくじょうの亀裂の深き秋思かな

石井いさお

秋蝶に襲かさねの色目斎宮址

高橋玲子

露草の色濃し皇女歌碑の辺に

下村菜々

斎宮址民の暮しの豆を引く

石井いさお

色変へぬ業平松や皇女の恋

西田ゆかり

子と拾ふ太古の森の木の実かな

中川キヌヨ